

2024年10月1日 【清真学園 校長室だより】 清真の秋

高校3年生の、大学入試出願に関する書類を数多く目にする季節になりました。総合型選抜や指定校・一般公募推薦志願者の推薦書や志願理由書に目を通しながら、一人ひとりが熟慮を重ね悩みながら決断した結果の志願先であろうことを想像すると、書類に押印する手にも思わず力が入ります。と同時に、一人ひとりの選択がそれぞれにとって最良のもので、未来を切り開き、幸せな人生につながるものであることを願わずにはられません。

9月7日と8日の創陵祭、今年も数多くの皆様にご来場をいただきました。私の、創陵祭パンフレットの「ご挨拶」には、「そもそも文化祭に参加する意味は、自分が表現する、創り上げることと同様に、他の人の作品や表現を受け止めて共感することにこそある」と記しましたが、多くの生徒達がそのことを体現してくれた創陵祭であったと自負しています。

一方、数多くのお客様をかなりお待たせしてしまうケースも見られ、このことの解消に可能な範囲でチャレンジすることを、次年度に向けた課題として指摘させていただきました。いずれにしても、広く地域社会に開かれた上質な文化祭として、この行事がさらに完成度を高めつつ、清真の歴史を彩り続けていってくれることを期待しています。

最近気になっている話題を一つ。それはこれからの「働き方の大変化」。現在の中高生たちの多くが、おそらく経験することになるであろうこれからの働き方についてです。キーワードは「フリーランス」。企業や団体に属さずに働く形が、日本を含め世界中で進んでいくであろう事です。すでに米国では総労働者の36%を超え、数年後には半数を超えるという予測がありますし、日本ではまだ多くはありませんが、今後、確実に進んでいくはず。しかし、このような環境で生き残るためには、成功するためのしっかりとした心構え、いわゆる強いマインドが必要になります。これからの社会の大きな変化を主体的に受け入れ、絶えず自分自身を磨き続けることができる人だけが充実した人生を手に入れる。本当に大変な時代になりつつあることを実感させられます。